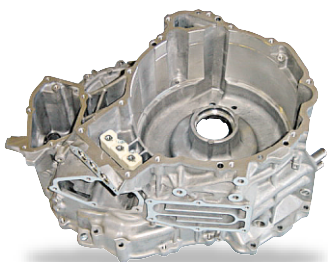


株主のみなさまへ

第92期 中間報告書

平成15年4月1日から
平成15年9月30日まで



RYOBI
リョービ株式会社



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

第92期(平成16年3月期)中間報告書をお届けするにあたり、経営施策及び業績の概況等についてご報告申し上げます。

経営健全化計画

当社は「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念に、お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることを目指しております。

当社は各事業の規模の適正化と体質の強化をはかり、高収益体質へ転換するため平成13年3月期を初年度とする「経営健全化計画」を推進しており、当期が最終年度にあたります。経営環境は大きく変化し、厳しさを増しておりますが、施策は計画にそって実行し、事業構築の再構築、有利子負債の削減などにおいて成果をあげております。

また、利益剰余金については、連結は平成15年3月期に、単独は当中間期に黒字化することが出来ましたが、より安定した高収益体質の確立を目指して、収益力向上の取り組みを一層強化しております。

業績の概況

当中間期のわが国経済はデフレ状態が続く中、一部に明るい兆しがあるものの、個人消費の低迷、価格競争の激化、円高の進行など、依然として不透明で、厳しい状況が続いております。米国経済は堅調な個人消費と設備投資などにより、回復傾向にありますが、デフレ懸念は消えておりません。SARS(重症急性呼吸器症候群)の終息とともに中国の景気は回復し、拡大しておりますが、欧州は依然として厳しい状況が続いております。

このような情勢のもとで、当社は積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行してまいりました。その結果、当中間期の連結決算は、前中間期に比べて減収(微減)・増益(単独は増収・増益)となりました。中間純利益は保有有価証券の一部売却(平成15年9月19日発表)による特別利益を計上したため、過去最高額となりました。

(単位:百万円)

	連結(前中間期比)	<参考> 単独(前中間期比)
売上高	75,893(0.5%減)	50,914(0.1%増)
	国内 53,300(2.8%増) 海外 22,593(7.7%減)	国内 41,587(1.4%増) 輸出 9,327(5.2%減)
営業利益	4,566(28.7%増)	2,282(7.5%増)
経常利益	4,614(49.6%増)	2,649(16.5%増)
中間純利益	10,201(694.6%増)	8,347(545.9%増)

前述のとおり特別利益の計上により、単独の利益剰余金は黒字化しましたが、復配の時期等については、今後の業績動向を見極めながら検討いたします。つきましては、当中間期の配当は誠に不本意ではございますが見送らせていただきます。

通期の見通し

個人消費の低迷、円高の進行、中東情勢など種々の不安定要素があり、大変予測が難しい状況ですが、当社は「経営健全化計画」を基本にして、各事業の規模の適正化と体質の強化、業績向上に一層注力してまいります。

現時点における通期の業績見通しは、次のとおりであります。前期比で減収・増益(単独は減収・当期増益)を見込んでおります。

(単位:百万円)

	連結(前期比)	<参考> 単独(前期比)
売上高	152,500(2.5%減)	105,000(1.1%減)
経常利益	8,600(6.9%増)	5,700(0.6%減)
当期純利益	11,400(155.0%増)	8,600(126.5%増)

売上高は印刷機器事業が伸ばすものの、ダイカスト事業は米国自動車メーカー向けなどが減少する見込みであり、住建機器事業も減少するなど、全体では減収を見込んでおります。

経常利益は新商品の拡販、原価低減などにより増益を見込んでおります。当期純利益は減損会計の早期適用などによる特別損失を計上しますが、保有有価証券の一部売却による特別利益があり、増益を見込んでおります。

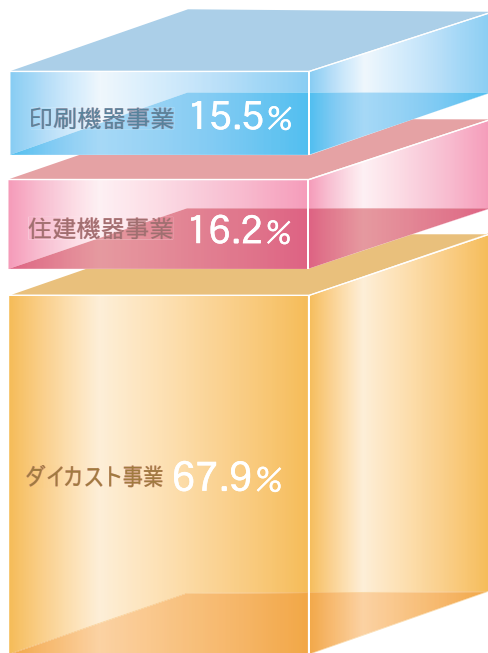
以上のとおりご報告申し上げます。株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

取締役社長 浦上 浩

事業別の概況

連結売上高構成比



ダイカスト事業 515億円

売上高は515億1百万円(2.0%減)、営業利益は25億92百万円(5.5%減)、売上高営業利益率は5.0%(前中間期は5.2%)となりました。国内トラックメーカー向けなどが増加し、プラズマディスプレイ、スロットマシンなど自動車以外の分野へも用途を拡大しましたが、米国自動車メーカー向け減少の影響を受け、売上高は若干の減少となりました。売上高減少に加えてプライスダウン要請も厳しく、コストダウンを進めましたが吸収しきれず、利益は減少しました。

今後も世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日米欧3極での生産体制などを活かし、自動車メーカーなど

との関係強化・拡充をはかってまいります。軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として、自動車はもとより、電機、通信など自動車以外の分野からも注目されており、成長が期待できます。

印刷機器事業 117億円

売上高は117億28百万円(8.0%増)、営業利益は8億99百万円(954.8%増)、売上高営業利益率は7.7%(前中間期は0.8%)となりました。国内販売、輸出ともに伸ばし、とくに中型印刷機(B2・A2・B3サイズ)が伸びました。売上高が増えたこと、生産リードタイムの短縮などコストダウンを一層進めたことにより、利益が大幅に改善しました。

今後も引き続き精度の高い多色化と機能の高度化を追求し、世界市場での評価をいっそう強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めてまいります。また、IT化、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズに合った商品の拡充に取り組んでまいります。

住建機器事業 123億円

この事業はパワーツール(電動工具、園芸用機器等)と建築用品(ドアクロージ、ヒンジ、建築金物等)で構成しております。

売上高は123億8百万円(0.6%減)、営業利益は11億円(41.9%増)、売上高営業利益率は8.9%(前中間期は6.3%)となりました。国内の新設住宅着工戸数は引き続き低迷し、売上高はほぼ横ばいでした。しかし、利益は「経営健全化計画」実行の効果やコストダウン、生産・販売効率の向上などにより改善しました。

今後も中国・大連など海外で生産する強みを活かし、価格競争力のある商品、特長のある商品の開発を行うとともに、販売力を一層強化して収益向上をはかってまいります。

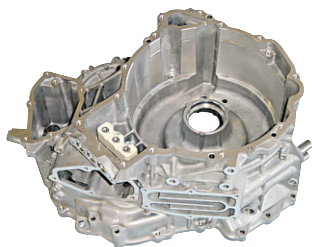
()内は前中間期比

軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、コンピューターを駆使した解析から金型の設計・製作、鋳造、加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の面からも注目されています。特に、軽量化による低燃費を目指す自動車には、エンジン、トランスミッションなどに数多くの部品が採用されています。その一例として、最新のハイブリットカー「プリウス」(トヨタ自動車株式会社)のトランスミッションにも当社製品が採用されました。

また、新規分野のダイカスト化にも注力しており、家電、OA機器、産業機器、建築用品など様々な分野で、多様化する用途やニーズに対し、信頼の技術で応えています。



トランスミッション
(トヨタ自動車株式会社様の「プリウス」へ搭載)



RYOBI 680 / 750シリーズに 8色機と10色機が新登場



世界中で高く評価され数々の賞に輝いたRYOBI 680 / 750シリーズ。新たに片面・両面印刷兼用の8色機「RYOBI 688 P / 758 P」と、10色機「RYOBI 6810 P / 7510 P」を発売しました。一度の印刷で、フルカラーの両面印刷や金銀などの特色インキを使った高品位印刷が可能で、短納期化や高付加価値化に対応し幅広いビジネス展開を実現します。

軽量・コンパクトなジグソー、ドライバドリル、 インパクトドライバを同時発売

自社開発による小型・軽量・低振動のマグネットモーターを使用したコンパクト電動工具として、ジグソー「CJ 250」、ドライバドリル「CDD 1010」、インパクトドライバ「CID 800」の3機種を同時発売しました。発売に先立ち8月に開催された



「JAPAN DIY SHOW 2003」では、ジグソー「CJ 250」を展示し、来訪者の方々に高い評価をいただきました。

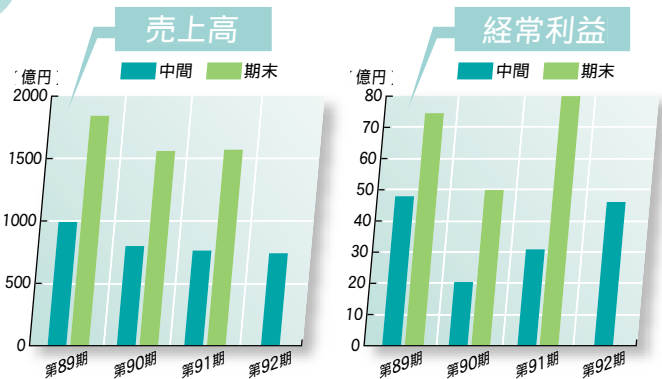
米国最上級規格の難関を突破した コンパクトドアクローザ「D-1650」

「D-1650」は、コンパクトかつ高耐久性を実現するために、基幹部品の強度を向上させ、耐久性に厳しく小型機種では取得が困難とされる米国の規格「ANSI Grade 1」を取得しました。小さくても頑丈で頼もしいドアクローザです。



業績の推移(連結)

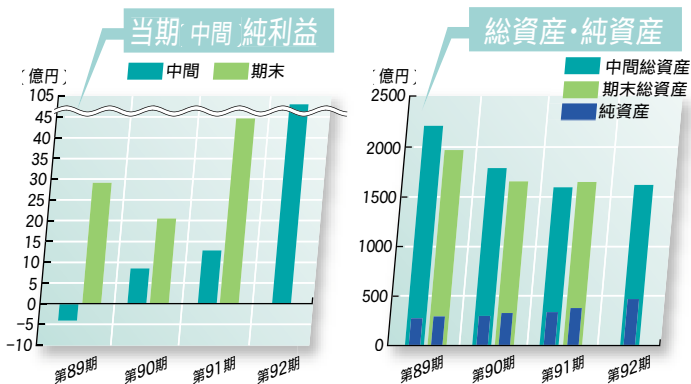
平成15年9月30日現在



財務ハイライト(中間)

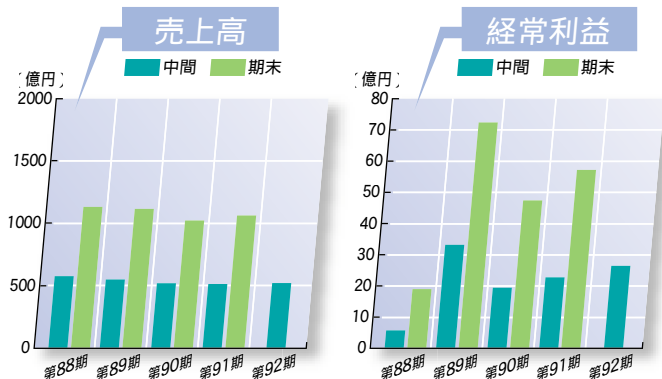
(平成・月)	第89期 12.4~12.9	第90期 13.4~13.9	第91期 14.4~14.9	第92期 15.4~15.9
売上高(百万円)	99,156	79,943	76,308	75,893
経常利益(百万円)	4,782	2,050	3,084	4,614
中間純利益(百万円)	410	815	1,283	10,201
1株当たり中間純利益(円)	2.40	4.77	7.52	60.72
総資産(百万円)	220,192	179,291	159,769	161,803
純資産(百万円)	27,066	30,091	34,372	47,016
1株当たり純資産(円)	158.64	176.28	201.66	280.89

- (注) 1. 印は、中間純損失及び1株当たり中間純損失を示しております。
 2. 1株当たり中間純利益は、自己株式数及び子会社保有の親会社株式数を控除した期中平均株式数に基づいて算出しております。
 3. 1株当たり純資産は、自己株式数及び子会社保有の親会社株式数を控除した期末発行済株式総数に基づいて算出しております。



業績の推移(単独)

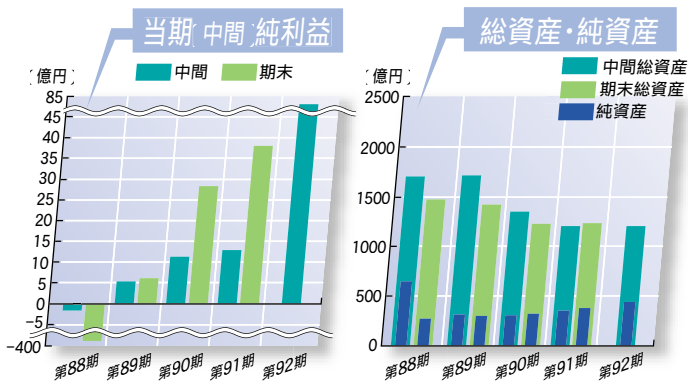
平成15年9月30日現在



財務ハイライト(中間)

(平成・月)	第88期 11.4~11.9	第89期 12.4~12.9	第90期 13.4~13.9	第91期 14.4~14.9	第92期 15.4~15.9
売上高(百万円)	57,795	56,678	51,264	50,848	50,914
経常利益(百万円)	574	3,317	1,942	2,274	2,649
中間純利益(百万円)	164	516	1,129	1,292	8,347
1株当たり中間純利益(円)	0.96	3.02	6.59	7.55	49.59
総資産(百万円)	171,694	172,025	135,042	121,453	122,425
純資産(百万円)	65,291	31,118	30,784	35,005	44,754
1株当たり純資産(円)	381.31	181.73	179.78	204.74	266.89

- (注) 1. 印は、中間純損失及び1株当たり中間純損失を示しております。
 2. 1株当たり中間純利益は、第89期までは期中平均株式数に基づいて、第90期以降は自己株式数を控除した期中平均株式数に基づいて算出しております。
 3. 1株当たり純資産は、第89期までは期末発行済株式総数に基づいて、第90期以降は自己株式数を控除した期末発行済株式総数に基づいて算出しております。



貸借対照表(連結)

平成15年9月30日現在

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	88,496	流動負債	77,903
現金及び預金	21,258	支払手形及び買掛金	27,902
受取手形及び売掛金	33,620	短期借入金	32,938
有価証券	1,504	コマースルペーパー	2,263
たな卸資産	27,838	未払法人税等	522
繰延税金資産	2,333	賞与引当金	1,421
その他	2,068	その他	12,855
貸倒引当金	127	固定負債	36,220
固定資産	73,307	長期借入金	25,788
有形固定資産	55,473	繰延税金負債	846
建物及び構築物	17,404	再評価に係る繰越税金負債	674
機械装置及び運搬具	14,053	退職給付引当金	6,625
土地	20,092	持分法適用に伴う負債	414
建設仮勘定	698	その他	1,870
その他	3,224	負債合計	114,124
無形固定資産	1,729		
投資その他の資産	16,104		
投資有価証券	8,449		
繰延税金資産	5,051		
その他	2,961		
貸倒引当金	357		
資産合計	161,803		
		少数株主持分	
		少数株主持分	662
		資本の部	
		資本金	18,472
		資本剰余金	23,517
		利益剰余金	10,565
		土地再評価差額金	626
		その他有価証券評価差額金	2,247
		為替換算調整勘定	7,731
		自己株式	680
		資本合計	47,016
		負債、少数株主持分及び資本合計	161,803

損益計算書(連結)

平成15年4月1日から
平成15年9月30日まで

(単位：百万円)

科目		金額	
経常損益の部	営業損益	売上高	75,893
		売上原価	60,819
		売上総利益	15,074
		販売費及び一般管理費	10,508
		営業利益	4,566
	営業外損益	受取利息	33
		受取配当金	123
		貸料	238
		その他	568
		支払利息	538
	コマーシャルペーパー利息	18	
	その他	358	
	経常利益	4,614	
特別損益の部	特別利益	固定資産処分益	4
		投資有価証券売却益	8,213
		その他	6
	特別損失	固定資産処分損	161
		その他	6
税金等調整前中間純利益		12,669	
法人税、住民税及び事業税		521	
法人税等調整額		1,912	
少数株主利益		33	
中間純利益		10,201	

貸借対照表(単独)

平成15年9月30日現在

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	69,105	流動負債	52,026
現金及び預金	14,981	支払手形	4,248
受取手形	2,611	買掛金	15,568
売掛金	26,482	短期借入金	15,400
有価証券	1,504	1年内返済長期借入金	9,480
製品	8,895	未払金	2,584
原材料	2,009	未払費用	808
仕掛品	7,265	賞与引当金	922
貯蔵品	598	従業員預り金	1,479
繰延税金資産	2,252	割賦販売繰延金	1,017
未収入金	2,376	その他の流動負債	515
その他の流動資産	153	固定負債	25,644
貸倒引当金	25	長期借入金	20,952
固定資産	53,319	退職給付引当金	4,018
有形固定資産	29,257	債務保証損失引当金	570
建築物	7,663	その他の固定負債	103
構築物	448	負債合計	77,671
機械及び装置	3,132		
車両運搬具	44		
工具器具備品	946		
土地	16,861		
建設仮勘定	158		
無形固定資産	184		
投資その他の資産	23,878		
投資有価証券	7,628		
子会社株式	6,329		
子会社出資金	3,120		
繰延税金資産	4,816		
その他の投資等	2,074		
貸倒引当金	90		
資産合計	122,425	資本の部	
		資本金	18,472
		資本剰余金	23,517
		資本準備金	11,617
		その他資本剰余金	11,900
		利益剰余金	1,253
		中間未処分利益	1,253
		株式等評価差額金	2,153
		その他有価証券評価差額金	2,153
		自己株式	642
		資本合計	44,754
		負債・資本合計	122,425

- (注) 1.有形固定資産の減価償却累計額 42,257百万円
 2.受取手形割引高 575百万円
 3.保証債務 13,397百万円
 4.時価評価により増加した純資産額 2,153百万円
 5.自己株式保有数 3,540,598株

損益計算書(単独)

平成15年4月1日から
平成15年9月30日まで

(単位：百万円)

科 目		金額	
経常損益の部	営業損益	売上高	50,914
		売上原価	42,341
		割賦販売損益繰延金	70
		販売費及び一般管理費	6,220
		営業利益	2,282
	営業外損益	受取利息	69
		受取配当金	335
		賃貸料	340
		その他の営業外収益	279
		支払利息	383
	その他の営業外費用	274	
経常利益		2,649	
特別損益の部	特別利益	固定資産処分益	1
		投資有価証券売却益	8,180
		その他の特別利益	34
	特別損失	固定資産処分損	113
		債務保証損失引当金繰入額	570
	その他の特別損失	5	
税引前中間純利益		10,177	
法人税、住民税及び事業税		20	
法人税等調整額		1,810	
中間純利益		8,347	
前期繰越損失()		7,093	
中間未処分利益		1,253	

株式の状況 平成15年9月30日現在

会社が発行する株式総数.....	500,000千株
発行済株式総数.....	171,230千株
自己株式保有数.....	3,540千株
株主数.....	18,036名

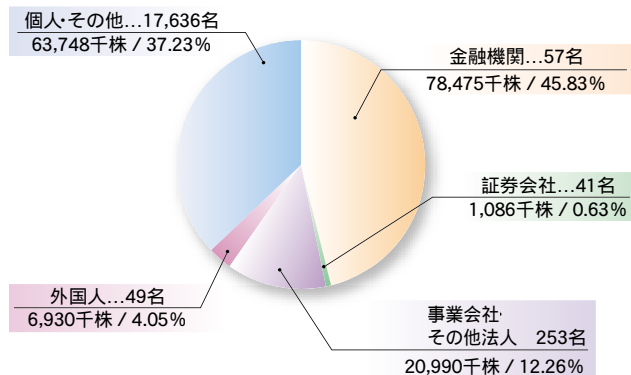
大株主

株主名	持株数	議決権比率
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社信託口	13,909千株	8.35%
明治生命保険相互会社	9,300	5.58
第一生命保険相互会社	8,067	4.84
日本生命保険相互会社	7,944	4.77
株式会社東京三菱銀行	6,090	3.65
菱工会持株会	5,758	3.46
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	5,299	3.18
財団法人浦上奨学会	5,020	3.01
住友信託銀行株式会社	4,503	2.70
三菱信託銀行株式会社	3,324	1.99

(注)当社は、平成15年9月30日現在で自己株式を3,540千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式分布状況

所有者別 合計 18,036名 / 171,230千株



会社の概要 平成15年10月31日現在

社名	リョービ株式会社
英文社名	RYOBI LIMITED
設立年月日	昭和18年12月16日
資本金	184億7,219万円
社員数	1,922名
主要商品	1. ダイカスト製品 2. 印刷機器(オフセット印刷機、組版機等) 3. パワーツール(電動工具、園芸用機器等) 4. 建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

本社・支社・支店・営業所・工場

本社	〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地	☎(0847)41-1111
東京支社	〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号	☎(03)3927-5541
東京支社虎ノ門分室	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号虎ノ門セントラルビル4階	☎(03)3501-0511
大阪支店	〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号	☎(072)685-1122
営業所	札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡	
広島工場	〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地	☎(0847)41-1111
広島東工場	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番地の2	☎(0847)40-1600
静岡工場	〒421-3292 静岡県庵原郡蒲原町蒲原5215番地の1	☎(0543)85-3101
印刷機器工場	〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1	☎(0847)45-5871

◆主なグループ会社

ダイカスト事業	印刷機器事業
リョービミラサカ株式会社	リョービマジクス株式会社
リョービミツギ株式会社	住建機器事業
株式会社東京軽合金製作所	リョービ販売株式会社
生野株式会社	リョービパワーツール株式会社
RYOBI DIE CASTING(USA)INC.	利優比(大連)機器有限公司
RYOBI ALUMINIUM CASTING (UK)LIMITED	良友精工股份有限公司

役員 平成15年12月8日現在

取締役社長	浦上 浩	取締役	加村 幹夫
常務取締役	三船 強	取締役	室家 士郎
取締役	原田 博之	常勤監査役	小林 照三
取締役	吉川 進	監査役	深野 博史
取締役	田中 孝雄	監査役	大岡 哲
取締役	横山 隆志	監査役	高橋 宏明

(注)監査役深野博史及び大岡哲は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める「社外監査役」であります。

「くらしごこち」がテーマです。



株式事務についてのご案内

決 算 期	3月31日
配 当 期	利益配当金支払株主確定関係 / 3月31日 中間配当金支払株主確定関係 / 9月30日
定時株主総会	6月中
基 準 日	3月31日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 及び電話照会先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-707-696(フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店

この報告書並びにIR・事業概要・商品紹介等の最新情報については、当社ホームページでご覧いただけます。<http://www.ryobi-group.co.jp/>